

Petals imbricated

corolla very

connate at base
5-petaled, patent

まきの手帖

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

Special issue

Tomitaro Makino's Botanical Illustrations

Makino's note No.10
FREE PAPER



花

花柄

葉

毛白シ

very minutely
pubescent

pale

green

Tomitaro Makino's Botanical Illustrations

Tomitaro Makino's Botanical Illustrations
8800 * F

LUNA * 269

VENUS - AMERICAN PENCIL CO. NEW YORK

JUPITER * BBBBB

珠玉の図を描く植物学者

牧野富太郎と「牧野式植物図」

文 鴻上泰、里見和彦

牧野富太郎博士は、植物分類学者として日本の植物を明らかにし、世界に発表する仕事をしました。植物を観察し、その結果を表現するには、なによりも図が効果的です。牧野博士は若いころに

たためた勉強心得「精鞭一撻」の中で「当に画図を引くを学ぶべし」として、研究成果を図で表現することの重要性を説いています。牧野博士のように専門の画家を超えるレベルの精密かつ美しい図を描ける研究者は他に類を見ません。

牧野博士の描いた図は、言葉による記述（記載文）にかわるものです。このため全体図はもちろん記述に必要な

要素である生殖器

官、栄養器官などの解剖図や部分図を駆使して、種の情報を余すところなく伝えようとしています。



自らが研究し、理解したことを描くわけですからおのずと描線に自信がみなぎり、生命感あふれる図が出現します。牧野博士にしか描きあられない植物図を私たちは「牧野式植物図」と呼んでいます。

写真右／75歳の牧野博士（1937年）
写真左／ホテイランの印刷図（部分）「大日本植物志」第一巻第4集第16図版





解説!

牧野式植物図

文鴻上泰

完璧な図

Special issue
Tomitaro Makino's Botanical Illustrations

牧野式植物図の到達点 『大日本植物志』

「大日本植物志」は、日本に自生する植物の総目録として東京帝国大学から刊行されました。実際は牧野博士の単独編集であり、牧野博士の著作と言えるものです。その「大日本植物志」で牧野博士は、「シコクチャルメルソウ」を2枚の図、2ページの記載文および1ページの図解説明で表しています。全体図はこの植物の典型的な個体が筆と墨により実物大に描かれています。6本の花茎は、咲き始めから最盛期、そして果実の時期までの時間の経過がごく自然に表現されています。花とともに葉と根の立体感の描写も見事です。特に根の描写は圧巻で、ひげ根の重なりが全く破たんなく描かれ、原図には修正の跡もありません。指先に神経を集中させ、息を止めて一気に描く牧野博士のようすが伝わるようです。

完璧な記述(記載文)と部分図との整合性

記載文は全体図の根茎より説き起こし、葉、茎、花、ガク、花弁、花柱、子房、果実、種子へと続いていきます。文章に句読点はなく、簡潔明瞭な表現です。部分図はほぼ記載文に沿って配置され、文章を読みながら図が参照できるように構成されています。図の拡大率はそれぞれ異なり、ページ全体としてのバランスを保つように配置されています。牧野博士は描画の段階で、印刷での仕上がりをご想定していたものと思われま

写真右から／典型的な牧野式植物図シコクチャルメルソウの原図「大日本植物志」第1巻第2集第4図版、シコクチャルメルソウの花、シコクチャルメルソウの記載文(部分)、シコクチャルメルソウの原図 第1巻第2集第5図版



多年生草本○根莖ハ地下ニ傾斜シテ立チ敢テ匍枝ヲ出サズ其長キ者ハ凡十「センチメートル」ニシ通ジテ多数ノ根ヲ發出ス其上部ニハ舊葉柄ノ殘基ヲ著ケ莖頭ニ葉并ニ葶ヲ出ス通常枝ヲ分ツナル者アリ○葉ハ科ヲ成シテ根生シ往々霜雪ニ堪ユ葉面ハ卵形或ハ卵圓形ニシテ下底ハ心臟形ヲロ淺裂シ且ツ大小不齊ノ鈍齒或ハ缺刻鋸齒ヲ具ヘ齒端ハ細微ナル微凸頭ヲ成ス質柔クシテ乾ケバ



まきの手帖

Makino's note No.10
FREE PAPER

*Stamen many
about 40
shortly adnate
to the corolla
the base
filament shortly
connate at the
base*

[表紙]

牧野博士愛用の鉛筆

編集・制作・発行／高知県立牧野植物園

印刷／弘文印刷株式会社

発行日／2016年9月22日

● 高知県立牧野植物園

県立牧野植物園は、高知県出身の世界的な植物学者牧野富太郎博士の業績を顕彰するため1958年に開園。四季折々約3,000種類の草花をはじめ、南園の「50周年記念庭園」や温室、北園の薬用植物区などでさまざまな植物に出会うことができる。

● 牧野富太郎博士(1862～1957)

現在の高知県高岡郡佐川町生まれ。豊かな自然の中で幼少から植物に興味を持ち、独学で植物学の研究を続ける。22歳で上京し、植物分類学の研究に打ち込む。27歳の時、日本で初めて植物の学名を命名。また「牧野日本植物図鑑」を著すなど、94年の生涯を通して日本の植物分類学の基礎を築き、植物知識を広く一般に普及させた。

● ご利用案内

[開園時間] 午前9時～午後5時

[休園日] 年末年始(12/27～1/1)

[入園料] 一般720円(高校生以下無料)

団体620円(20名以上)

年間入園券2,880円(1年間有効のフリーパス)

身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳、療育手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者1名および高知市・高知県長寿手帳所持者は無料

■ JR高知駅から車で約20分。高知自動車道「高知IC」から五台山方面へ約20分。高知龍馬空港からは「高知南IC」をご利用ください。

■ 駐車場無料(普通車195台、バス8台)

 高知 牧野植物園
The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

〒781-8125 高知市五台山4200-6

TEL:088-882-2601 FAX:088-882-8635

www.makino.or.jp

www.facebook.com/MakinoBotanicalGarden